

公表: 令和6年3月12日

事業所名: コンパス札幌東区教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			2.47平方メートル以上という設備基準を遵守したスペースを確保しています。訓練室や静養室など、目的に応じて複数の部屋を使用するなど工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			ご利用者の方10人に対し、児童指導員2人という人員配置基準以上の人員配置を常に行い、専門性を備えた職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手摺の設置や玄関・トイレ・訓練室のドアを引き戸にする等の配慮を行っています。また、トイレの座面の高さを450mmに設定し、1階には玄関上がり框以外段差はありません。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCAサイクルを心がけ、ミーティング時に職員全員で振り返り、改善策などを話し合っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の他にも送迎時、LINE、電話、面談時など日頃から意向などを受け付けて対応しております。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。月に1回発行しているコンパス通信にホームページで公開していることを伝えています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は保護者の方と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1度内部研修を行っています。外部研修にも参加し、全職員に情報共有しております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に、保護者の方との面談や職員間での検討を通して、個別ニーズに合わせた計画を提案しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所内で定められた書式にてアセスメントを行っています。

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの立案や企画に関してはカリキュラム会議を開催し、職員全員で固定化しないように立案しています。月間カリキュラムを作成し、カリキュラム名の色を変えることで、コミュニケーション系・ビジネス系などがわかるようにしています。また、同じカリキュラムかつマンネリ化したものは行わず、人気のあるものや療育として質の高いカリキュラムを選んで実施しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			カリキュラムごとに個別に目標を設定しています。長期休暇は平日よりも長時間過ごすことになるため、1日の流れを明確にしながら、様々な経験ができるよう工夫しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団で過ごす中で、1対1での関わり・少人数での活動・全体での活動など、目的に応じて組み合わせで作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前後には必ずミーティングを開催し、記録書面と口頭でご利用者の方の状況や支援内容を共有し、前日休みの職員も含め細やかな引継ぎができるようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をもとに定期的に職員間でケース会議を行い、支援の検証・改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低でも6ヶ月に一度モニタリングを実施しています。モニタリングの結果、計画の見直しが必要となった場合には適宜計画を更新しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインを全職員に周知し、活動プログラムを組み立てる際の参考にしています。
関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達支援管理責任者が担当者として参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との連携がよりスムーズになるよう、事業所の療育目的や方針、活動内容を発信しています。ケースによっては学校の先生と担当者会議をしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在のところ、在籍しているご利用者の方においては医療的ケアを必要としているケースがありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	在籍しているご利用者の方が小学校高学年～高校生となっているため、幼保との連携については該当していません。その他の事業所から移行するケースについては、ご依頼があった場合に情報共有を行っています。

者との連携関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		高等支援学校を卒業後に就労継続支援B型事業所へ移行するご利用者から要望があったため、担当者会議を開催し、情報の提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	児童発達支援センターと連携は取れていますが、助言や研修は受けていません。今後、研修の参加等を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		毎年9月にコンパス祭を開催し、地域の方を招待した際に関わりを持つことができています。次年度も開催する予定です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		開催される場合は積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		事業所での活動の様子や今後の課題について、口頭でお伝えするよう心がけていますが、保護者の方の都合でLINEや電話にてお伝えする場面もあります。保護者の方との対話を通して相互理解が促進されるよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		個別面談を行い、困りごとや悩みを共有し、解決できるような相談・支援体制を作っています。主に来所により行っておりますが、LINE・電話・ZOOMでも対応しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っています。ご不明な点などのお問い合わせがあった際は書面や口頭で説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		学校・家庭における状況について相談を受けて、課題解決に向けて取り組んでいます。主に来所により行っておりますが、訪問・LINE・電話・ZOOMでも対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母の会はありませんが、保護者の方も参加できる行事（BBQや秋祭りなど）を開催しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付、解決へ向けた流れについて、「重要事項説明書」に記載し、契約時に説明しています。苦情があった場合はマニュアルに沿って迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月1回、月間カリキュラムやコンパス通信を発行しています。またHPのブログやYoutubeにて情報を発信しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に保護者の方からいただいている個人情報使用に関する同意書の中で「厳守事項」を明記し、これを行動規範としています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ご利用者の方の状態像に合わせ、情報伝達方法を変えるなど可能な限り配慮をしています。保護者の方へは面談のほか、電話やLINE、ZOOMでの相談を実施しています。

	⑳ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			9月に秋祭りを開催した際に地域の方を招待しております。また、カリキュラムとして地域のゴミ拾いなども実施しています。
	㉑ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し職員に周知しています。保護者の方向けにHPにも掲載されています。
	㉒ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年度、避難訓練を最低でも2回実施しています。実施後にコンパス通信にて保護者の方に周知しています。
非常時等の対応	㉓ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、研修を実施しています。また外部研修にも意欲的に参加し、社内で情報共有しております。
	㉔ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	やむを得ず身体拘束を行う時には条件を決め、保護者の方に説明し了解を得る様にしています。現在は対象児童がいないため個別支援計画に反映していませんが、今後は必要に応じて記載していきます。
	㉕ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アレルギーの有無については、保護者の方に聞き取りをして把握しています。今後は必要に応じて依頼していきます。
	㉖ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集・報告書を作成し、職員への周知・注意喚起に努めています。また、月に1回報告書を基に振り返りを実施しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。